

9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1

家敷多建てと野の石やなく熟  
杖あとのみさう中しや居る氣  
をとりふやほむさうも品々存  
世のさるもいそおし舞焼丸

有節  
昔金  
梅亭  
米牛

習もく銅板どありうや新の妹  
弦音も遠旅のち年あそまの社  
ころ力も若きほの巻くふ社あ  
鏡う任しく改やきこるごとよ様  
あくとと流るる水やと鈴の杖  
候もと居るもこころは花の志  
山いふとゆるたぬこのはくさか  
う鏡あはるるもさくこころや馬は夢  
早合つこころあそまふはゆは  
花もあそこころいふははははは  
流すのにもいふははははははは

知風  
風節  
風擋  
中守  
如守女  
手習女  
は袖女  
二八丸  
風朗  
風居  
志留

候も清文のきかあるも此のむ  
浅あとの目を漏る魚や神のし  
松風の口母まははははははは  
七冊や杖も徳武の物らうかめ

風巖  
姑妻  
風琴  
葦洞

かゝるるあそら

いれ  
ちの紙のあそら

